

# ノムラスマートプレミアム (野村SMA・EW向け)

## 運用報告書(全体版)

第1期(決算日2015年12月7日)

作成対象期間(2015年4月1日～2015年12月7日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合/特殊型(絶対収益追求型)	
信託期間	2015年4月1日以降、無期限とします。	
運用方針	ノムラスマートプレミアムマザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、内外の公社債、短期有価証券および上場投資信託証券を主要投資対象とし、世界各国の株価指数先物取引、債券先物取引等の有価証券先物取引等および為替予約取引等を主要取引対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。 運用にあたっては、世界の様々な指標の動きを計量的なアプローチを用いて分析し、定性的な判断を加え、リスク水準(推定されるポートフォリオの変動の大きさのこと)を考慮しつつ、リターンを追求するポートフォリオを構築することを基本とします。なお、ポートフォリオについては適宜見直しを行います。	
主な投資対象	ノムラスマートプレミアム(野村SMA・EW向け)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、短期有価証券等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	内外の公社債、短期有価証券および上場投資信託証券を主要投資対象とし、世界各国の株価指数先物取引、債券先物取引等の有価証券先物取引等および為替予約取引等を主要取引対象とします。
主な投資制限	ノムラスマートプレミアム(野村SMA・EW向け)	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
配分方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
		税込分配金	期中騰落率						
(設定日)	円	円	%	%	%	%	%	%	百万円
2015年4月1日	10,000	—	—	—	—	—	—	—	1
1期(2015年12月7日)	9,337	0	△6.6	—	17.0	60.3	160.2	30.0	780

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率、債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*当ファンドは、絶対収益を目標としているため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	標準価額		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率
		騰落率	騰落率					
(設定日)	円	%	%	%	%	%	%	%
2015年4月1日	10,000	—	—	—	—	—	—	—
4月末	9,966	△0.3	—	△10.6	59.1	163.1	30.7	
5月末	9,782	△2.2	—	△22.7	56.4	206.4	32.3	
6月末	9,642	△3.6	—	△19.5	53.7	157.8	31.4	
7月末	9,688	△3.1	—	△10.0	57.4	220.0	31.3	
8月末	9,598	△4.0	—	△11.0	56.6	188.9	30.5	
9月末	9,770	△2.3	—	△10.1	56.7	155.6	28.1	
10月末	9,629	△3.7	—	△6.3	57.6	170.0	31.4	
11月末	9,551	△4.5	—	15.0	59.3	143.5	29.4	
(期末)								
2015年12月7日	9,337	△6.6	—	17.0	60.3	160.2	30.0	

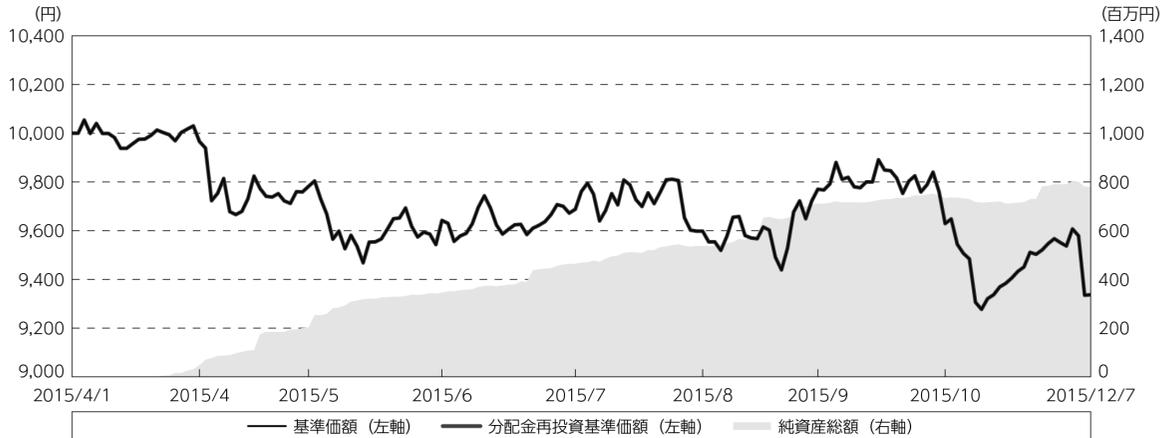
\*騰落率は設定日比です。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率、債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、6.6%の下落となりました。ファンドの基準価額変動の主な要因を以下に記します。

- (株式運用／一) 4月・10月など株式市場が上昇する局面で売り持つ戦略をとっていたことがマイナスに寄与しました。株式戦略は 基準価額を2.0%程度押し下げる結果となりました。
- (債券運用／一) 債券を買い持つ戦略を維持したこと自体はプラスに寄与したものの、欧州・米国の長期債を中心に保有した選択効果がマイナスとなりました。債券戦略は、基準価額を0.8%程度押し下げる結果となりました。

（通貨運用／一）米国ドル高が進行した環境下で、米国ドルを売り持つ戦略をとったことがマイナスに寄与しました。通貨戦略は、基準価額を2.2%程度押し下げる結果となりました。

（オルタナティブ／一）世界リートや金を中心に保有する戦略をとったことがマイナスに寄与しました。オルタナティブ戦略は、基準価額を0.5%程度押し下げる結果となりました。

その他、信託報酬や売買手数料等は、基準価額を1.0%程度押し下げる結果となりました。

## ○投資環境

米国で利上げ観測が高まる一方で欧州や日本では金融緩和が継続するという対照的な金融政策や、新興国を中心とした実体経済の先行きに対する不信感が市場の注目を集めました。株式市場は、世界的に軟調に推移しました。債券市場では、欧米の国債価格は下落しました。為替市場では、多くの通貨が対米国ドルで下落しました。

株式市場では、8月、9月に、中国株式市場の大幅下落や中国景気の先行きに対する懸念の高まりを発端として世界的に株式市場が大幅に下落しました。しかし、FRB（米連邦準備制度理事会）が想定する利上げペースが緩やかであることが示されたこと、ECB（欧州中央銀行）による金融緩和強化に対する期待の高まりを受けて、先進国を中心に10月以降は株価が上昇しました。期中通してでは、米国株式はほぼ横ばいとなった一方で、欧州株式は下落しました。

債券市場では、4月末に欧米の国債価格は大幅に下落しました。その後、米国債は、8月、9月の世界的な株式市場の混乱による逃避需要や世界景気減速を懸念した利上げの先送り観測により一旦上昇したものの、11月に発表された10月の強い米雇用統計などを受けて年内利上げの観測が再び高まると、短期債を中心に価格が下落しました。欧州では、10月に金融緩和強化への期待が高まったことを受けて短期債を中心に国債価格が上昇していたものの、12月初旬のECBの追加緩和決定後に大幅に国債価格が下落しました。期中全体としては、米国の短期・長期国債と欧州の長期国債の価格が下落しました。

為替市場では、利上げに向かう米国と金融緩和政策を継続する欧州・日本という構図が市場で意識されたため、期中、米国の利上げ観測に左右されながら為替市場は動きました。ギリシャ債務問題や8月の株式市場下落時には、短期的にユーロや円が対米国ドルで上昇しました。10月中旬以降、ECBによる金融緩和政策強化への期待が高まったことを受けてユーロは対米国ドルで下落したものの、12月のECBの追加緩和決定後、ユーロは対米国ドルで大きく上昇しました。期中通してでは、円や資源国・新興国通貨は対米国ドルで上昇した一方で、ユーロは対米国ドルでほぼ横ばいとなりました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### 【ノムラスマートプレミアム（野村SMA・EW向け）】

主要投資対象である【ノムラスマートプレミアムマザーファンド】を、期を通じて高位に組み入れました。

### 【ノムラスマートプレミアムマザーファンド】

#### ・期中の主な動き

#### 【株式】

4月から10月後半までのほとんどの期間において、株式を売り持つ戦略をとり、投資比率を-20%~0%程度の範囲で推移させました。株式への投資比率を0%を下回る比率で維持したのは、世界景気の先行きに対してやや弱気の見方を維持していたからです。米国ドル高や原油安により米国景気は成長が鈍化し始めていることや、新興国景気に改善の兆しが見られないことがその背景です。

10月後半以降は、株式を買い持つ戦略に転換し、期末時点では24%としています。株式市場の下落により世界景気の減速が織り込まれ、先進諸国の景気も強く加速するとは言いえないものの、新興国景気は最悪期を抜けて世界全体としては当面の間は低成長を持続すると考えているため、株式をはじめとしたリスク資産が上昇に転じやすいと判断しました。

#### 【債券】

期中、債券を買い持つ戦略を維持し、デュレーション<sup>(注)</sup>を10年~20年程度の範囲で推移させました。米国・欧州・日本の長期債を中心に買い持ちました。米国では、年内の利上げが市場では織り込まれつつあるものの、自発的失業率等の賃金に先行する傾向のある指標に改善の兆しは未だ見られないこと、各種経済指標には過去の利上げ開始時のような強さは無くむしろ終盤の様子に近く、原油安やドル高の米国景気への波及効果も重石となることから、非常に緩やかな金融政策正常化になると判断しているため、長期債を中心に買い持つ戦略を維持しました。また、欧州・日本では、改善する兆しの無いインフレ率を受けて追加金融緩和に対する期待が高まるとの判断から買い持ちを維持しました。期末時点のデュレーションは20年としています。

(注) デュレーションとは金利がある一定の割合で変動した場合、債券の価格がどの程度変化するかを示す指標です。この値が大きいほど金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。

## 【通貨配分】

期中、ほとんどの期間において、米国ドルを売り持つ戦略をとりました。4月～6月にかけて、米国景気は市場が期待しているほど強くない一方で欧州景気は通貨安や金利低下を受けて改善に向かうとの見方から、昨年来続いてきた米国ドル高トレンドが反転すると判断し、米国ドルを売り持ち、欧州通貨を買い持つ戦略をとりました。期末には、欧州の追加緩和期待の高まりに備えて欧州通貨を売り持ち、最悪期を脱したであろう新興国の通貨を買い持つ戦略に転換しています。

## 【オルタナティブ】

期中、世界景気の先行きに対する慎重姿勢から、原油等のエネルギー商品はほぼ保有しませんでした。一方で、米国の利上げ観測後退に備えて金ETFの保有を継続し、10月以降には世界リートの組み入れ比率を高めました。期末の投資比率は9%としました。

以下は、ノムラスマートプレミアムマザーファンドの組み入れ比率です。

### ・株式組入比率（%）

設定時

	現物	先物	合計
日本	0.0	-0.8	-0.8
北米	0.0	-12.4	-12.4
欧州	0.0	6.6	6.6
アジア(除く日本)	0.0	-1.4	-1.4
その他	3.0	0.0	3.0
新興国株式	0.1	-6.9	-6.8
合計	3.1	-14.9	-11.7

当期末

	現物	先物	合計
日本	0.0	1.7	1.7
北米	0.0	-6.8	-6.8
欧州	0.0	11.0	11.0
アジア(除く日本)	0.0	7.0	7.0
その他	5.6	0.0	5.6
新興国株式	1.4	4.2	5.6
合計	7.0	17.1	24.1

(注) 株式には投資信託証券を含みます。

### ・債券組入比率（%）

設定時

	現物	先物	合計
日本	28.3	22.8	51.1
北米	0.8	164.8	165.6
欧州	26.4	-27.9	-1.5
アジア(除く日本)	0.0	-2.8	-2.8
新興国債券	6.0	0.0	6.0
物価連動債	10.4	0.0	10.4
事業債	0.1	0.0	0.1
合計	72.0	157.0	229.0

当期末

	現物	先物	合計
日本	22.0	29.3	51.3
北米	3.9	81.4	85.4
欧州	26.6	43.3	70.0
アジア(除く日本)	0.0	7.0	7.0
新興国債券	5.2	0.0	5.2
物価連動債	15.3	0.0	15.3
事業債	1.8	0.0	1.8
合計	75.0	161.1	236.1

## ・債券デュレーション（年）

	設定時	当期末
日本	4.8	5.0
北米	7.7	7.3
欧州	2.8	7.0
アジア(除く日本)	-0.1	0.5
新興国債券	0.1	0.1
合計	15.3	20.0

(注) デュレーションとは金利がある一定の割合で変動した場合、債券の価格がどの程度変化するかを示す指標です。  
この値が大きいほど金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。

## ・オルタナティブ（％）

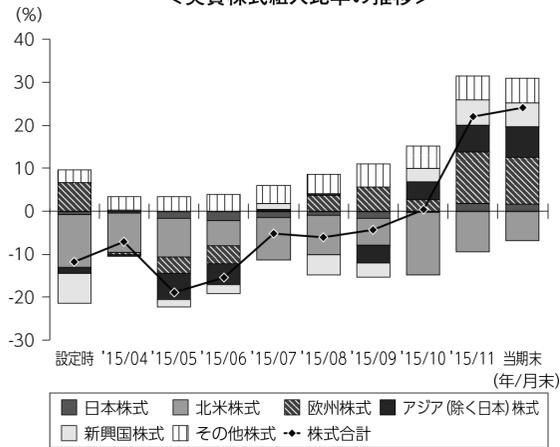
	設定時	当期末
リート	3.8	5.9
商品	2.8	2.9
合計	6.6	8.8

(注) オルタナティブには投資信託証券を含みます。

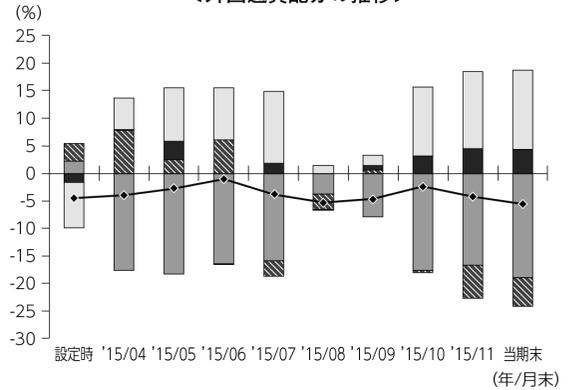
## ・通貨配分（％）

	設定時	当期末
円	104.5	105.5
米国ドル	9.0	-16.1
カナダドル	-6.8	-2.9
ユーロ	9.2	-2.0
イギリスポンド	-6.6	-0.4
オーストラリアドル	-1.7	4.3
スイスフラン	0.5	-0.4
スウェーデンクローナ	2.4	0.0
ノルウェークローネ	-2.2	-2.5
その他	-3.4	6.2
新興国	-4.8	8.1
合計	100.0	100.0

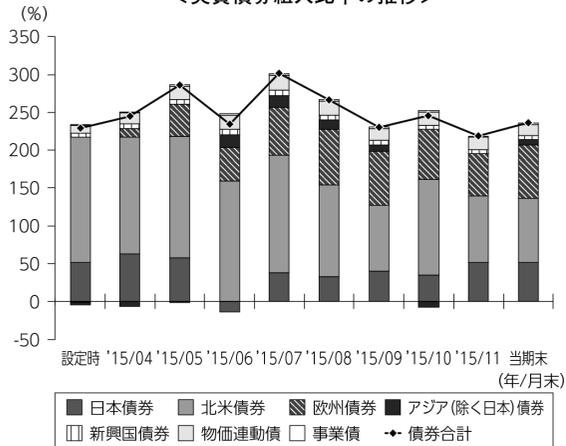
<実質株式組入比率の推移>



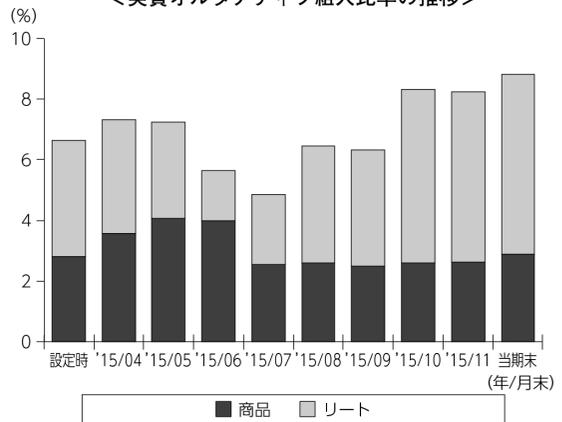
<外国通貨配分の推移>



<実質債券組入比率の推移>



<実質オルタナティブ組入比率の推移>

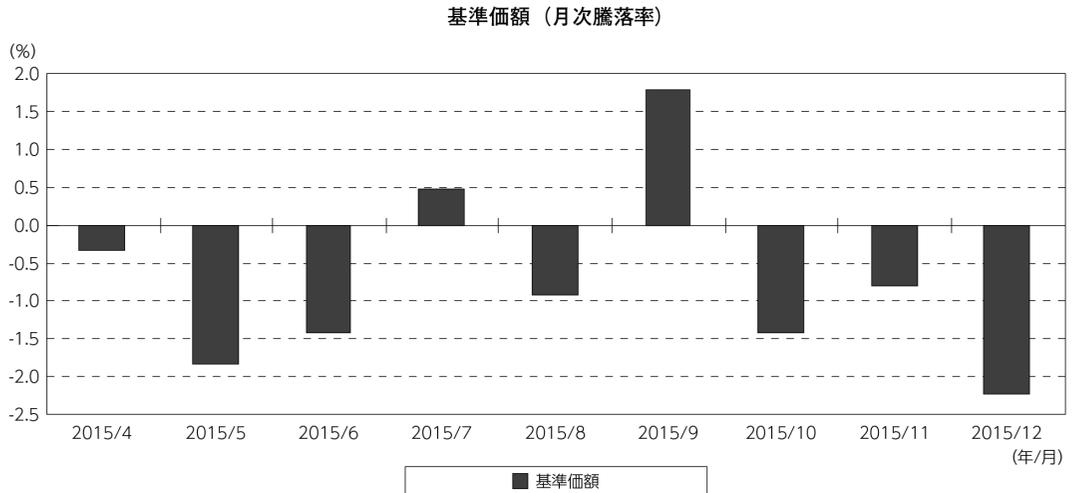


(注) 図は設定時、期末（または月末）の資産・地域別配分です。

(注) 現物、先物（または為替予約）を合わせた実質的な組入比率を表しています。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、絶対収益を目標としているため、ベンチマーク等はありません。  
グラフは、期中の当ファンドの月次基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 2015年4月は期首から当月末まで、2015年12月は月初から期末までの期間で計算。

## ◎分配金

- (1) 今期の収益分配については、基準価額が10,000円を下回っていることを考慮して見送らせていただきました。
- (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万円当たり・税込み)

項 目	第1期
	2015年4月1日～ 2015年12月7日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	50

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

### [ノムラスマートプレミアムマザーファンド]

#### ・運用方針

世界の様々な指標の動きを計量的なアプローチを用いて分析し、定性的な判断を加え、リスク水準※を考慮しつつ、リターンを追求するポートフォリオを構築することを基本とします。なお、ポートフォリオについては市場見直しに対応して適宜見直しを行いません。

※リスク水準とは、推定されるポートフォリオの変動の大きさのことです。ファンドでは推定される基準価額の「振れ幅」（上下変動の程度）を表しています。

#### ・投資環境見直し

世界景気は必ずしも力強いわけではなく、当面の間は緩やかな成長率に留まるでしょう。米国では、2006年以来の利上げが秒読み状態であるものの、過去の利上げ開始時期と比べて企業経営者の景況判断やGDP成長率等の経済指標は低水準にあります。我々の試算では、2014年後半から続いている米国ドル高は利上げを数度行ったのと同様の景気引き締め効果を持っています。加えて、原油安、他国景気低迷の影響を受けて、経済成長は既に鈍化し始めているとみられます。また、新興国景気に関して、ブラジルでは、景気減速にも関わらずインフレ率の高止まりから金融引き締めを行わざるを得ない状況が続いています。中国では、セメント生産量・電力消費量・貨物輸送量等の実体景気を表す指標に改善の兆しは見られません。多くの新興諸国は、ここ数年で生じた通貨安の恩恵に浴することなく、外需低迷の煽りから輸出に回復の兆しは見られません。唯一、欧州景気には改善が確認されるものの、世界を主導するほどの力強さは無く、逆に世界景気低迷の煽りを受ける可能性さえあります。

しかしながら、日欧を筆頭に世界の先進諸国において緩和的な金融政策が続けられることにより、世界景気が腰折れする可能性は低いと考えています。欧州や日本を筆頭に、低迷するインフレ率や景気を押し上げるために中央銀行が金融緩和を続行・強化するでしょう。加えて、米国でさえ、高まらない経済成長率と、再び下落傾向に陥っている資源エネルギー価格によるインフレ率抑圧を受けて、いつ利上げを終えるのかという議論が市場を賑わせる日はそう遠くはないと考えています。米国の賃金上昇率も、自発的失業率・労働生産性等の先行指標に改善の兆しは多くないことから、加速する可能性は低いとみています。仮に成長が鈍化しつつある企業利益を減らしてまで企業が賃金を上げるような事態となれば、それは過去の景気後退局面入りの前兆の姿と重なるため、警戒が必要となります。

一方で、米国金融当局が利上げに踏み切ることに對する市場の反応にも注意が必要です。ユーロ/米国ドルについては、景気面からみると、「鈍化傾向の米国vs改善傾向の欧州」という構図が、潜在的な米国ドル安圧力であると考えています。一方で、金融政策面からみると、「引き締め開始の米国vs緩和強化の欧州」という構図に加え、短期金利の較差も開いているため、米国ドル高圧力があることも確かです。米国の金融政策の正常化開始というシンボリックなイベントを控え、欧米の金融政策の方向性の違いが市場で意識されているため、期末時点では後者が支配的になっているものの、いずれは前者が支配的となることを想定しています。

## ・株式

2015年8・9月の株式等のリスク資産の大幅下落により、世界景気の先行き懸念は多くの資産にほぼ織り込まれたと考えています。今後、米国の利上げが緩やかなものに留まり、世界的に緩和的な金融政策が続けられることで世界景気は低成長ながらも景気拡大が実現するという想定シナリオにおいては、株式等のリスク資産は緩やかに上昇していくと考えています。そのため、現在、ここ1年では比較的高い水準としている組入比率を当面の間維持する方針です。

## ・債券

米国・欧州を含めて世界的にインフレ率の低迷が続き、米国の利上げも緩やかなペースで行われるとみています。そのため、先進国の長期国債を中心に買い持つ戦略を維持する方針です。

## ・為替

現在時点では、為替戦略の取得リスク量は小幅です。ただし、欧米の金融政策乖離に注目した市場の動きが一服した後は、「鈍化傾向の米国vs改善傾向の欧州」という景気面が市場で意識され始めることで、昨年来続いてきた米国ドル高が反転すると考えているため、欧州通貨を買い持ち、米国ドルを売り持つ戦略を構築する方針です。

## ・オルタナティブ

世界的に金融緩和状態の中で景気が腰折れする可能性は小さいとの判断から、現在は抑制している商品の保有比率を高めていく方針です。リートについては、保有を継続する方針です。

## [ノムラスマートプレミアム（野村SMA・EW向け）]

主要投資対象である[ノムラスマートプレミアムマザーファンド]の組み入れを高位に維持することによって、基準価額の向上に努めます。

引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

（2015年4月1日～2015年12月7日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬（基本報酬）	円 65	% 0.667	(a) 信託報酬（基本報酬）＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(57)	(0.593)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(4)	(0.037)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.037)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 信託報酬（成功報酬）	14	0.145	(b) 信託報酬（成功報酬）は、基本報酬額に加えて、委託会社が受領するハイ・ウォーターマーク方式による成功報酬額で、一定時点毎の基準価額が過去の一定時点における最高値を更新している場合に受領する仕組みになっています。
(c) 売買委託手数料	10	0.100	(c) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(3)	(0.032)	
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	(7)	(0.068)	
(d) 有価証券取引税	0	0.000	(d) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(e) その他費用	2	0.023	(e) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.007)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	91	0.935	
期中の平均基準価額は、9,703円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2015年4月1日～2015年12月7日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ノムラスマートプレミアムマザーファンド	千口 598,212	千円 814,955	千口 9,086	千円 12,000

\*単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年4月1日～2015年12月7日)

## 利害関係人との取引状況

<ノムラスマートプレミアム（野村SMA・EW向け）>  
該当事項はございません。

## &lt;ノムラスマートプレミアムマザーファンド&gt;

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D		D C
公社債	百万円 4,657	百万円 879	% 18.9		百万円 3,048	百万円 168	% 5.5	
投資信託証券	2,029	15	0.7		1,044	7	0.7	
為替先物取引	24,829	958	3.9		27,115	1,008	3.7	
為替直物取引	4,454	77	1.7		1,793	61	3.4	

平均保有割合 6.6%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	481千円
うち利害関係人への支払額 (B)	1千円
(B) / (A)	0.3%

\*売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

## ○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2015年4月1日～2015年12月7日)

設定時残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2015年12月7日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
ノムラスマートプレミアムマザーファンド		千口 589,126	千円 775,643

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2015年12月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ノムラスマートプレミアムマザーファンド	千円 775,643	% 99.0
コール・ローン等、その他	7,879	1.0
投資信託財産総額	783,522	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*ノムラスマートプレミアムマザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（6,827,424千円）の投資信託財産総額（9,564,335千円）に対する比率は71.4%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=123.24円、1カナダドル=92.00円、1英ポンド=186.09円、1スイスフラン=123.59円、1スウェーデンクローナ=14.52円、1ノルウェークローネ=14.41円、1ユーロ=133.95円、1ズロチ=31.07円、1香港ドル=15.90円、1シンガポールドル=88.15円、1豪ドル=90.27円、1メキシコペソ=7.39円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2015年12月7日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	783,522,970
コール・ローン等	7,879,403
ノムラスマートプレミアムマザーファンド(評価額)	775,643,552
未収利息	15
(B) 負債	3,480,489
未払解約金	542,735
未払信託報酬	2,928,057
その他未払費用	9,697
(C) 純資産総額(A-B)	780,042,481
元本	835,395,884
次期繰越損益金	△ 55,353,403
(D) 受益権総口数	835,395,884口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,337円

(注) 期首元本額1百万円、期中追加設定元本額878百万円、期中一部解約元本額44百万円、計算口数当たり純資産額9,337円。

## ○損益の状況（2015年4月1日～2015年12月7日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,118
受取利息	2,118
(B) 有価証券売買損益	△26,515,780
売買益	815,227
売買損	△27,331,007
(C) 信託報酬等	△ 2,937,754
(D) 当期損益金(A+B+C)	△29,451,416
(E) 追加信託差損益金	△25,901,987
(売買損益相当額)	(△25,901,987)
(F) 計(D+E)	△55,353,403
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△55,353,403
追加信託差損益金	△25,901,987
(配当等相当額)	( 1,261,652)
(売買損益相当額)	(△27,163,639)
分配準備積立金	2,917,334
繰越損益金	△32,368,750

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2015年4月1日～2015年12月7日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2015年4月1日～ 2015年12月7日
a. 配当等収益(経費控除後)	2,917,334円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,261,652円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	4,178,986円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	50円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

## ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

---

有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年8月3日>

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2015年12月7日現在）

## &lt;ノムラスマートプレミアムマザーファンド&gt;

下記は、ノムラスマートプレミアムマザーファンド全体(6,920,559千口)の内容です。

## 国内公社債

## (A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	1,800,000	2,005,033	22.0	—	22.0	—	—
合 計	1,800,000	2,005,033	22.0	—	22.0	—	—

\*組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*—印は組み入れなし。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
国庫債券 利付(10年)第336回	0.5	490,000	501,034	2024/12/20
国庫債券 利付(10年)第339回	0.4	100,000	101,066	2025/6/20
国庫債券 利付(30年)第22回	2.5	100,000	125,287	2036/3/20
国庫債券 利付(30年)第23回	2.5	100,000	125,228	2036/6/20
国庫債券 利付(30年)第24回	2.5	160,000	200,259	2036/9/20
国庫債券 利付(20年)第145回	1.7	170,000	192,190	2033/6/20
国庫債券 利付(20年)第146回	1.7	270,000	304,740	2033/9/20
国庫債券 利付(20年)第147回	1.6	410,000	455,227	2033/12/20
合 計		1,800,000	2,005,033	

\*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	6,500	6,003	739,826	8.1	—	8.1	—	—
カナダ	千カナダドル 1,500	千カナダドル 1,543	141,986	1.6	—	—	1.6	—
イギリス	千英ポンド 3,700	千英ポンド 4,424	823,435	9.0	—	6.9	2.1	—
ノルウェー	千ノルウェークローネ 1,000	千ノルウェークローネ 1,118	16,116	0.2	—	0.2	—	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	600	745	99,880	1.1	—	1.1	—	—
イタリア	2,150	2,474	331,446	3.6	—	2.5	1.1	—
フランス	1,100	1,212	162,477	1.8	—	1.8	—	—
スペイン	5,200	5,493	735,886	8.1	—	4.7	3.4	—
ポーランド	千ズロチ 8,000	千ズロチ 8,264	256,762	2.8	—	2.8	—	—
メキシコ	千メキシコペソ 25,000	千メキシコペソ 29,384	217,148	2.4	—	2.4	—	—
合 計	—	—	3,524,967	38.7	—	30.5	8.1	—

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 一印は組み入れなし。

\* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末					償還年月日	
	利 率	額面金額	評 価 額				
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券	TSY INFL IX N/B I/L	0.25	2,500	2,412	297,318	2025/1/15	
	TSY INFL IX N/BI/L	0.75	4,000	3,590	442,508	2045/2/15	
小 計					739,826		
カナダ			千カナダドル	千カナダドル			
国債証券	CANADIAN GOVERNMENT	1.5	1,500	1,543	141,986	2020/3/1	
小 計					141,986		
イギリス			千英ポンド	千英ポンド			
国債証券	UK TREASURY	1.75	500	511	95,203	2019/7/22	
	UK TREASURY	2.0	500	516	96,022	2020/7/22	
	UK TREASURY	4.25	600	754	140,427	2032/6/7	
	UK TREASURY	4.5	800	1,043	194,173	2034/9/7	
	UK TREASURY	4.25	750	969	180,404	2039/9/7	
	UK TREASURY	3.5	200	235	43,891	2045/1/22	
	UK TSY 3 1/4% 2044	3.25	350	393	73,312	2044/1/22	
小 計					823,435		
ノルウェー			千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ			
国債証券	NORWEGIAN GOVERNMENT	3.0	1,000	1,118	16,116	2024/3/14	
小 計					16,116		
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
ドイツ	国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	2.5	600	745	99,880	2044/7/4
イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	0.65	750	750	100,482	2020/11/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	4.5	1,400	1,724	230,964	2023/5/1
フランス	国債証券	FRANCE GOVERNMENT O.A.T	3.75	600	713	95,616	2021/4/25
		FRANCE GOVERNMENT O.A.T	1.0	500	499	66,861	2025/11/25
スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1.15	2,250	2,300	308,138	2020/7/30
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	3.8	1,450	1,705	228,450	2024/4/30
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1.6	1,500	1,487	199,297	2025/4/30
小 計					1,329,691		
ポーランド			千ズロチ	千ズロチ			
国債証券	POLAND GOVERNMENT BOND	3.25	8,000	8,264	256,762	2025/7/25	
小 計					256,762		
メキシコ			千メキシコペソ	千メキシコペソ			
国債証券	MEX BONOS DESARR FIX RT	6.5	10,000	10,475	77,413	2021/6/10	
	MEX BONOS DESARR FIX RT	10.0	15,000	18,908	139,734	2024/12/5	
小 計					217,148		
合 計					3,524,967		

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## 国内投資信託証券

銘柄	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	口 55,500	千円 102,397	% 1.1
合 計	口 数 ・ 金 額 55,500	102,397	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	<1.1%>

\*比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

## 外国投資信託証券

銘柄	口 数	当 期 末		比 率
		評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	千米ドル	千円	%
ISHARES GOLD TRUST	161,400	1,694	208,854	2.3
ISHARES MSCI EMERGING MARKET ASIA	10,600	554	68,387	0.8
ISHARES TIPS BOND ETF	48,700	5,377	662,717	7.3
ISHARES GLOBAL TECH ETF	1,900	193	23,883	0.3
ISHARES GLOBAL HEALTHCARE ET	2,200	228	28,219	0.3
ISHARES GLOBAL FINANCIALS ETF	12,000	662	81,648	0.9
ISHARES GLOBAL ENERGY ETF	6,100	184	22,703	0.2
ISHARES LATIN AMERICA 40 ETF	17,100	395	48,744	0.5
ISHARES JP MORGAN USD EM BOND ETF	19,100	2,050	252,665	2.8
ISHARES CORE US CREDIT BOND ETF	5,400	581	71,687	0.8
ISHARES GLOBAL MATERIALS ETF	100	4	585	0.0
ISHARES GLOBAL UTILITIES ETF	50,900	2,256	278,078	3.1
ISHARES GLOBAL CONSUMER STAP	5,800	547	67,497	0.7
ISHARES GLOBAL CONSUMER DISCRETIONARYETF	1,000	92	11,400	0.1
ISHARES S&P GSCI COMMODITY I	1,000	15	1,891	0.0
MARKET VECTORS J.P. MORGAN EM LOCAL CURR	103,400	1,818	224,149	2.5
POWERSHARES DB AGRICULTURE F	16,800	351	43,375	0.5
SPDR S&P EMERGING EUROPE ETF	3,000	72	8,902	0.1
SPDR DJ GLOBAL REAL ESTATE E	75,700	3,559	438,662	4.8
SPDR BARCLAYS HIGH YIELD BD	22,400	785	96,841	1.1
UNITED STATES OIL FUND LP	4,900	61	7,524	0.1
合 計	口 数 ・ 金 額 569,500	21,489	2,648,421	
	銘 柄 数 < 比 率 >	21	<29.1%>	

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			当期	
			買建額	売建額
国内	株式先物取引	TOPIX	95	—
		日経225	59	—
	債券先物取引	10年国債標準物	2,671	—
外国	株式先物取引	AEX	83	—
		CAC40	233	—
		CAN60	—	86
		DAX30	36	—
		DJIAVMN	—	65
		EURO50	557	—
		FT100	57	—
		FTSE/MIB	—	59
		HANGSENG	228	—
		IBEX	121	—
		MSCIN	277	—
		MSCIS	183	—
		MSCIT	109	—
		NASDAQMN	69	—
		RSL2M	—	72
		SP500	—	257
SPI200	221	—		
SPEMINI	—	193		
SWISSMKT	—	32		
CBOEVIX	—	9		
国内	債券先物取引	TNOTE (2YEAR)	1,205	—
		TNOTE (5YEAR)	2,656	—
		AU10YR	636	—
		BOBL	—	524
		BTP	1,415	—
		BUNDS	2,458	—
		BUXL	708	—
		CANADA	—	191
		GILTS	—	108
		TBOND	1,516	—
		TNOTE (10YEAR)	2,622	—
		T-ULTRA	—	389

\*単位未満は切り捨て。

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*—印は組み入れなし。

# ノムラスマートプレミアムマザーファンド

## 運用報告書

第2期（決算日2014年12月15日）

作成対象期間（2013年12月14日～2014年12月15日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	内外の短期有価証券および上場投資信託証券を主要投資対象とし、世界各国の株価指数先物取引、債券先物取引等の有価証券先物取引等および為替予約取引等を主要取引対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。 運用にあたっては、世界の様々な指標の動きを計量的なアプローチを用いて分析し、定性的な判断を加え、リスク水準（推定されるポートフォリオの変動の大きさのこと）を考慮しつつ、リターンを追求するポートフォリオを構築することを基本とします。なお、ポートフォリオについては適宜見直しを行います。 有価証券先物取引等および為替予約取引等の活用ならびに上場投資信託証券への投資にあたっては、世界各国の株式・債券・不動産投資信託（REIT）・商品・通貨等を対象とし、複数のロング・ポジションとショート・ポジションを組み合わせます。なお、ショート・ポジションは有価証券先物取引等および為替予約取引等の活用によるものとします。 有価証券先物取引等の買い建ておよび上場投資信託証券への投資によるロング・ポジション、有価証券先物取引等の売り建てによるショート・ポジションの比率には特段の制限は設けませんが、ファンド全体のリスク水準が適正となるよう調整します。為替予約取引等の使用については、外貨建て資産の為替変動リスクを回避する目的（ヘッジ目的。代替ヘッジを含みます。）のほか、効率的に収益を追求する目的（ヘッジ目的外）で活用します。なお、為替の買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額は信託財産の純資産総額の100%以内とします。資金動向、市況動向等によっては、このような運用ができない場合があります。
主な投資対象	内外の短期有価証券および上場投資信託証券を主要投資対象とし、世界各国の株価指数先物取引、債券先物取引等の有価証券先物取引等および為替予約取引等を主要取引対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

### 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		騰落	率						
(設定日) 2012年1月27日	円 10,000	% -	百万円 348						
1期(2013年12月13日)	11,203	12.0	-	17.6	43.7	△ 15.5	34.3	2,645	
2期(2014年12月15日)	13,623	21.6	-	△ 3.6	55.4	107.9	31.3	6,413	

\*株式先物比率、債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*当ファンドは、絶対収益を目標としているため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

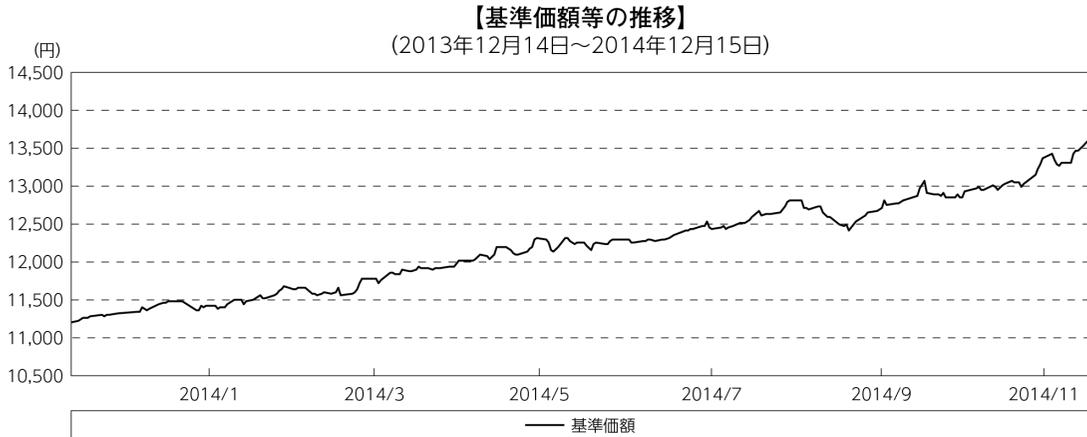
年月日	基準価額	騰落率		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率
		騰落	率					
(期首) 2013年12月13日	円 11,203	% -	% -	% 17.6	% 43.7	% △ 15.5	% 34.3	
12月末	11,319	1.0	-	20.3	48.0	18.5	33.2	
2014年1月末	11,414	1.9	-	13.6	53.1	40.4	32.3	
2月末	11,671	4.2	-	20.6	35.5	90.5	17.4	
3月末	11,773	5.1	-	21.2	55.3	60.9	25.4	
4月末	11,924	6.4	-	21.4	57.2	93.8	26.9	
5月末	12,319	10.0	-	20.9	57.3	86.8	30.2	
6月末	12,292	9.7	-	20.2	55.0	1.8	30.7	
7月末	12,459	11.2	-	2.5	56.6	12.0	32.0	
8月末	12,800	14.3	-	1.3	56.1	85.2	31.3	
9月末	12,686	13.2	-	△ 5.9	55.4	74.4	31.8	
10月末	12,919	15.3	-	△ 0.9	57.5	196.3	31.4	
11月末	13,368	19.3	-	3.0	54.8	110.2	33.1	
(期末) 2014年12月15日	13,623	21.6	-	△ 3.6	55.4	107.9	31.3	

\*騰落率は期首比です。

\*株式先物比率、債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は期首の11,203円から当期末の13,623円に2,420円値上がりしました。

以下に基準価額騰落率の投資資産別寄与度を記します。

- (株式運用／＋) 期首から7月にかけては株式を20～30%組み入れた後、0%近辺まで投資比率を削減しました。地域では欧州を中心に買い持ちとしました。株価が上昇する中で株式投資に積極的であったことや、金融緩和期待の高まりを受けて上昇した欧州市場に多く投資していたこと等がプラス効果となりました。株式全体の投資効果は+2.0ポイント程度となりました。
- (債券運用／＋) 期を通じて債券を多めに保有する戦略を維持しました。期首から8月頃まではデュレーションを6～10年強に維持した後、2014年後半は債券に対する投資姿勢をより積極化させて期末時点で19年弱まで延伸しました。価格の上昇した欧州、北米等の先進国国債を中心に債券を多めに保有したことが大きなプラス要因となり、利息収入も含めて16.4%強基準価額を押し上げる効果となりました。その他、インフレ国債に投資した効果や事業債投資もプラス効果となりました。新興国国債への投資は軽微ながらマイナス効果となりました。債券全体の投資効果は+16.8ポイント程度となりました。

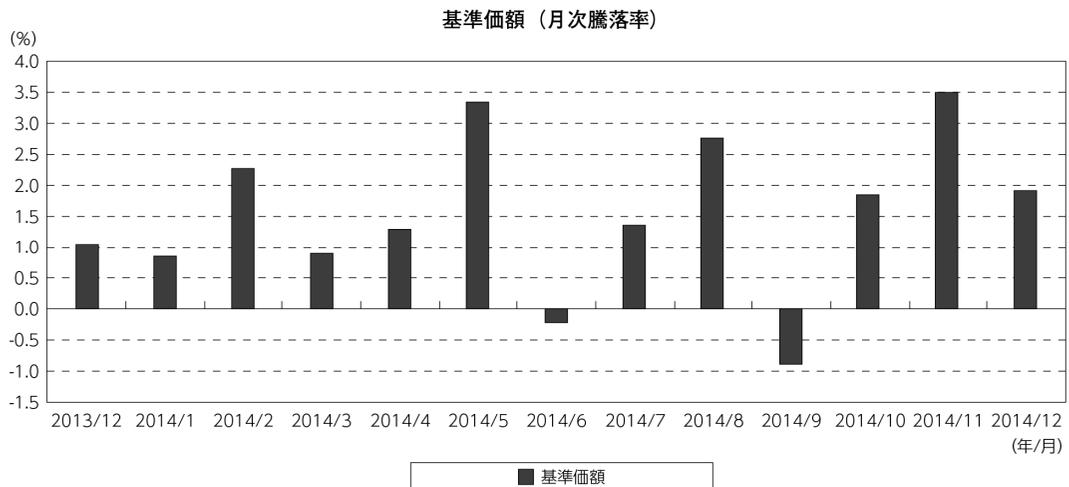
(通貨運用／＋) 外国通貨比率を概ね10%前後に維持しました。最も特徴的な戦略は7月以降、期末に向けて拡大させた米国ドルの買い持ちとユーロ等の欧州通貨売り持ちを組み合わせる戦略です。この戦略や円安が進行した中で外貨を保有していた効果がいずれもプラスとなりました。通貨全体の投資効果は+2.7ポイント強となりました。

(オルタナティブ／＋) リートへの投資効果は+0.7ポイント強、商品への投資効果は-0.2ポイント強となりました。リートは期首から期末まで3～4%程度の組入れ比率でした。変化の幅は大きくはないものの特に2014年夏以降に投資を活発化させました。商品については主な投資対象としたのは金ETFでした。ただし、6月以降に投資を開始した原油ETFが0.5%程度と少ない投資比率ながら期末近辺に大きく下落したことがマイナスに影響しました。

その他、日中の取引タイミングや取引費用等の寄与度が-0.2ポイント程度でした。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、絶対収益を目標としているため、ベンチマーク等はありません。グラフは、期中の当ファンドの月次基準価額騰落率です。



(注) 2013年12月は期首から当月末まで、2014年12月は月初から期末までの期間で計算。

## ◎今後の運用方針

世界の様々な指標の動きを計量的なアプローチを用いて分析し、定性的な判断を加え、リスク水準※を考慮しつつ、リターンを追求するポートフォリオを構築することを基本とします。なお、ポートフォリオについては市場見直しに対応して適宜見直しを行いません。

※リスク水準とは、推定されるポートフォリオの変動の大きさのことです。ファンドでは推定される基準価額の「振れ幅」(上下変動の程度)を表しています。

## ○1万口当たりの費用明細

(2013年12月14日～2014年12月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 ) ( 先 物 ・ オ プ シ ョ ン )	20 ( 4 ) (16)	% 0.158 (0.030) (0.128)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 投 資 信 託 証 券 )	0 ( 0 )	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	2 ( 2 ) ( 0 )	0.017 (0.017) (0.000)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	22	0.175	
期中の平均基準価額は、12,245円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2013年12月14日～2014年12月15日)

## 公社債

		買付額	売付額	
国内	国債証券	千円	千円	
		1,530,701	972,664	
外国	イギリス	千英ポンド	千英ポンド	
	国債証券	2,325	—	
	スウェーデン	千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ	
	国債証券	16,332	19,579	
国内	ノルウェー	千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ	
	国債証券	18,760	5,076	
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	
	ドイツ	国債証券	1,936	155
	イタリア	国債証券	1,896	1,244
	フランス	国債証券	3,039	813
	スペイン	国債証券	4,170	2,708
メキシコ	国債証券	千メキシコペソ	千メキシコペソ	
		9,282	7,994	

\*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

\*単位未満は切り捨て。

## 投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	口	千円	口	千円
		21,300	35,667	1,500	2,807
外国	アメリカ		千米ドル		千米ドル
	ISHARES GOLD TRUST	19,500	229	8,500	102
	ISHARES TIPS BOND ETF	9,500	1,069	9,000	1,018
	ISHARES S&P GBL TELECOMM SE	13,200	860	3,700	235
	ISHARES GLOBAL TECH ETF	3,000	274	5,000	427
	ISHARES GLOBAL HEALTHCARE ET	7,000	675	2,400	236
	ISHARES GLOBAL FINANCIALS ETF	2,000	112	8,500	482
	ISHARES JP MORGAN USD EM BOND ETF	40,000	4,473	13,600	1,548
	ISHARES CORE US CREDIT BOND ETF	7,500	832	8,700	968
	ISHARES GLOBAL UTILITIES ETF	33,500	1,536	11,000	531
	ISHARES GLOBAL CONSUMER STAP	4,500	397	3,000	268
	ISHARES GLOBAL CONSUMER DISCRETIONARYETF	500	41	500	42
	MARKET VECTORS EMERGING MARK	57,500	1,359	11,000	258
	POWERSHARES DB AGRICULTURE F	20,500	527	13,000	331
	SPDR DJ GLOBAL REAL ESTATE E	29,500	1,337	6,500	299
	SPDR BARCLAYS HIGH YIELD BD	27,000	1,109	12,500	505
UNITED STATES OIL FUND LP	8,500	327	—	—	
小計	283,200	15,164	116,900	7,257	

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## 先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
国 内	株式先物取引	百万円 942	百万円 1,046	百万円 228	百万円 232
	債券先物取引	2,494	1,027	10,738	11,943
外 国	株式先物取引	17,884	18,194	12,336	12,063
	債券先物取引	69,187	66,487	22,001	22,333

\*単位未満は切り捨て。

\*外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2013年12月14日～2014年12月15日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 4,119	百万円 317	% 7.7	百万円 2,119	百万円 475	% 22.4
為替先物取引	23,057	414	1.8	25,701	506	2.0
為替直物取引	3,314	65	2.0	1,415	59	4.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2014年12月15日現在)

## 国内公社債

## (A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 1,000,000	千円 1,082,067	% 16.9	% -	% 16.9	% -	% -
合 計	1,000,000	1,082,067	16.9	-	16.9	-	-

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*-印は組み入れなし。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当 期			末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券		%	千円	千円		
国庫債券	利付(10年)第328回	0.6	150,000	154,432	2023/3/20	
国庫債券	利付(10年)第330回	0.8	50,000	52,267	2023/9/20	
国庫債券	利付(10年)第332回	0.6	100,000	102,721	2023/12/20	
国庫債券	利付(20年)第138回	1.5	80,000	86,734	2032/6/20	
国庫債券	利付(20年)第145回	1.7	270,000	299,046	2033/6/20	
国庫債券	利付(20年)第146回	1.7	350,000	386,865	2033/9/20	
合 計			1,000,000	1,082,067		

\*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期								末		
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率					
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満			
イギリス	千英ポンド 2,200	千英ポンド 2,887	千円 538,560	% 8.4	% —	% 8.4	% —	% —			
ノルウェー	千ノルウェークローネ 16,000	千ノルウェークローネ 17,928	288,640	4.5	—	4.5	—	—			
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ									
ドイツ	1,600	2,018	298,310	4.7	—	4.7	—	—			
イタリア	3,100	3,634	537,230	8.4	—	4.2	4.2	—			
フランス	3,200	3,673	543,000	8.5	—	5.9	2.6	—			
スペイン	1,550	1,747	258,279	4.0	—	2.7	1.3	—			
メキシコ	千メキシコペソ 1,000	千メキシコペソ 1,136	9,133	0.1	—	0.1	—	—			
合 計	—	—	2,473,154	38.6	—	30.5	8.1	—			

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*—印は組み入れなし。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日		
		利 率	額面金額	評 価 額				
				外貨建金額	邦貨換算金額			
イギリス	国債証券	UK TREASURY	4.25	1,000	1,284	239,560	2032/6/7	
		UK TREASURY	4.5	1,200	1,602	299,000	2034/9/7	
	小 計					538,560		
ノルウェー	国債証券	NORWEGIAN GOVERNMENT	3.0	16,000	17,928	288,640	2024/3/14	
		小 計				288,640		
ユーロ	ドイツ	国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	2.5	1,600	2,018	298,310	2044/7/4
		イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	4.25	1,600	1,827	270,060
	フランス	国債証券	FRANCE GOVERNMENT O.A.T	1.0	1,100	1,135	167,766	2018/5/25
			FRANCE GOVERNMENT O.A.T	3.75	2,100	2,538	375,233	2021/4/25
	スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	3.75	500	554	81,947	2018/10/31
			BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1.4	250	253	37,482	2020/1/31
			BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	3.8	800	939	138,849	2024/4/30
小 計					1,636,820			
メキシコ	国債証券	MEXICAN FIXED RATE BONDS	8.0	1,000	1,136	9,133	2023/12/7	
		小 計				9,133		
合 計					2,473,154			

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## 国内投資信託証券

銘柄	銘柄	期首(前期末)	当 期 末		比 率
		口 数	口 数	評 価 額	
NEXTFUNDS東証REIT指数連動型上場投信		口	口	千円	%
		26,700	46,500	91,791	1.4
合 計	口 数 ・ 金 額	26,700	46,500	91,791	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	<1.4%>	

\*比率は、純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

## 外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
ISHARES GOLD TRUST	9,500	20,500	242	28,764	0.4	
ISHARES TIPS BOND ETF	21,000	21,500	2,424	287,601	4.5	
ISHARES S&P GBL TELECOMM SE	—	9,500	575	68,283	1.1	
ISHARES GLOBAL TECH ETF	2,100	100	9	1,108	0.0	
ISHARES GLOBAL HEALTHCARE ET	500	5,100	515	61,114	1.0	
ISHARES GLOBAL FINANCIALS ETF	11,500	5,000	280	33,252	0.5	
ISHARES JP MORGAN USD EM BOND ETF	20,500	46,900	5,077	602,285	9.4	
ISHARES CORE US CREDIT BOND ETF	11,000	9,800	1,093	129,663	2.0	
ISHARES GLOBAL UTILITIES ETF	3,800	26,300	1,287	152,665	2.4	
ISHARES GLOBAL CONSUMER STAP	—	1,500	133	15,877	0.2	
MARKET VECTORS EMERGING MARK	30,000	76,500	1,625	192,815	3.0	
POWERSHARES DB AGRICULTURE F	15,000	22,500	567	67,251	1.0	
SPDR DJ GLOBAL REAL ESTATE E	9,000	32,000	1,518	180,135	2.8	
SPDR BARCLAYS HIGH YIELD BD	2,000	16,500	620	73,644	1.1	
UNITED STATES OIL FUND LP	50	8,550	187	22,249	0.3	
合 計	口 数 ・ 金 額	135,950	302,250	16,159	1,916,713	
	銘 柄 数 < 比 率 >	13	15	—	<29.9%>	

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*比率は、純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*一印は組み入れなし。

\*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			当期	
			買建額	売建額
国内	債券先物取引	10年国債標準物	百万円 1,473	百万円 —
外	株式先物取引	AEX	—	84
		CAC40	24	—
		CAN60	—	361
		EURO50	181	—
		FT100	—	199
		FTSE/MIB	13	—
		HANGSENG	35	—
		IBEX	29	—
		MSCIN	—	185
		MSCIS	68	—
		MSCIT	—	19
		NASDAQ100	99	—
		NASDAQMN	139	—
		SP500	—	236
国	債券先物取引	SPI200	37	—
		SPEMINI	47	—
		SWISSMKT	152	—
		CBOEVIX	24	—
		TNOTE (5YEAR)	—	283
		BOBL	—	767
		BTP	414	—
		BUNDS	2,218	—
BUXL	430	—		
CANADA	—	213		
GILTS	754	—		
TBOND	2,014	—		
TNOTE (10YEAR)	544	—		
T-ULTRA	332	—		

\* 単位未満は切り捨て。

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* —印は組み入れなし。

## ○投資信託財産の構成

(2014年12月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 3,555,221	% 53.3
投資信託受益証券	2,008,504	30.1
コール・ローン等、その他	1,100,356	16.6
投資信託財産総額	6,664,081	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建て純資産（5,016,269千円）の投資信託財産総額（6,664,081千円）に対する比率は75.3%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=118.61円、1カナダドル=102.51円、1英ポンド=186.53円、1スイスフラン=122.99円、1スウェーデンクローナ=15.72円、1ノルウェークローネ=16.10円、1ユーロ=147.80円、1香港ドル=15.30円、1シンガポールドル=90.45円、1豪ドル=97.52円、1メキシコペソ=8.04円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2014年12月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	11,893,939,352
コール・ローン等	451,018,339
公社債(評価額)	3,555,221,962
投資信託受益証券(評価額)	2,008,504,065
未収入金	5,460,041,904
未収配当金	576,000
未収利息	27,530,797
前払費用	4,599,356
差入委託証拠金	386,446,929
(B) 負債	5,480,774,174
未払金	5,480,774,174
(C) 純資産総額(A-B)	6,413,165,178
元本	4,707,562,827
次期繰越損益金	1,705,602,351
(D) 受益権総口数	4,707,562,827口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,623円

(注) 期首元本額2,361百万円、期中追加設定元本額3,313百万円、期中一部解約元本額967百万円、計算口数当たり純資産額13,623円。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
 ・ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド30(非課税適格機関投資家専用) 1,898百万円  
 ・ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド50(適格機関投資家販売制限付) 2,809百万円

## ○損益の状況 (2013年12月14日～2014年12月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	133,346,655
受取配当金	58,178,452
受取利息	74,956,841
その他収益金	211,362
(B) 有価証券売買損益	405,854,359
売買益	1,023,286,891
売買損	△ 617,432,532
(C) 先物取引等取引損益	534,404,077
取引益	1,231,738,181
取引損	△ 697,334,104
(D) 保管費用等	△ 951,452
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	1,072,653,639
(F) 前期繰越損益金	283,945,827
(G) 追加信託差損益金	562,199,133
(H) 解約差損益金	△ 213,196,248
(I) 計(E+F+G+H)	1,705,602,351
次期繰越損益金(I)	1,705,602,351

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

①書面決議の要件緩和等に関する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2014年12月1日＞

②書面決議に反対した受益者が受託者に対して行う受益権の買取請求を不適用とする所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2014年12月1日＞

### <お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2015年12月7日現在)

年 月	日
2015年12月	25、28
2016年1月	18
2月	15
3月	25、28
4月	－
5月	2、30
6月	－
7月	4
8月	29
9月	5
10月	－
11月	11、24
12月	26、27

※2016年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご注意ください。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。